高知に60%をのこす体験ふるさと納税へ
「ジモッペイふるさと納税ポイント」の手数料を2027年4月から全面改定します。

各　位

令和８年１０月７日

高知信用金庫（理事長　山﨑久留美）は、地域通貨ジモッペイで提供している「ジモッペイふるさと納税ポイント」について、自治体が寄附金を地域のためにより多く活用できる仕組みを目指し、手数料体系を改定します。

今回の改定では、「寄附金の６０%以上を高知にのこす」ことを基本方針として、ふるさと納税運営手数料を５．０%、システム基盤利用料を２．５%とし、合計７．５%（いずれも税別）とし、２０２７年４月から適用開始いたします。

高知信用金庫は、地域金融機関であると同時に、地域の課題を地域とともに解決する「地域活性化機関」でありたいと考えています。
ふるさと納税を「寄附を集め、返礼品を届ける仕組み」にとどめず、**高知に財源を残し、高知を訪れていただき、地域で使っていただく仕組み創りにチャレンジし、**ジモッペイを通じて、新しい体験型ふるさと納税をつくっていきます。

1. 背景 ― ふるさと納税は「いくら地域に残せるか」へ

ふるさと納税は、全国の自治体にとって地域づくりを支える重要な制度となる一方、返礼品や寄附募集などに必要となる経費を抑え、寄附金をできるだけ地域のために活用することが、これまで以上に重要になっています。

国においても制度の見直しが進められており、寄附金から募集に要する費用を差し引いた「寄附金活用可能額」を確保する新たな基準が導入されます。２０２６年１０月から段階的に基準を引き上げ、最終的には寄附額の６０%以上を地域施策に活用できる制度へ移行する方向が示されています。

高知信用金庫では、この制度変更への対応だけを目的とするのではなく、自治体が直面する「寄附金をできるだけ地域に残したい」という課題を先取りし、ジモッペイふるさと納税ポイントの手数料体系を見直すこととしました。

2. 「高知に 60%をのこす」新しい手数料体系

新しい手数料体系は次のとおりです。

区分	料率（税別）	税込
ふるさと納税運営手数料	５．０%	５．５０%
システム基盤利用料	２．５%	２．７５%
合計	７．５%	８．２５%

システム基盤利用料には、ジモッペイポイントの発行・管理、アプリでの残高管理、加盟店での利用、精算等を支えるシステム基盤の利用を含みます。

寄附額の３０%以内をジモッペイふるさと納税ポイントとして返礼した場合、ポイント３０%と上記手数料８．２５%を合わせて３８．２５%となります。

その他の募集経費を含む総費用を４０%以内に管理することで、**寄附金の６０%以上を自治体が地域のために活用できる仕組み**を目指します。

3. 返礼の３０%も、高知で使われます

ジモッペイふるさと納税ポイントの特徴は、寄附金を地域に残すだけではありません。返礼品として受け取ったポイントは、高知県内の対象となる飲食店、宿泊施設、レジャー・ 体験施設などで、１ポイント＝１円として利用できます。

つまり、**寄附金の６０%以上を地域施策へ。**そして、**返礼となる３０%以内のポイントも、高知での宿泊・食事・観光・体験へ。**寄附されたお金と、返礼によって生まれる消費の双方を高知につなげていくことが、ジモッペイふるさと納税ポイントの大きな特徴です。

4. 「高知を体験する」ふるさと納税へ

ジモッペイふるさと納税ポイントは、特定の商品を自宅へ届けるだけの返礼品ではありません。

寄附者自身が高知を訪れ、**泊まる。食べる。遊ぶ。体験する。地域の人や店と出会う。**

そのために使えるデジタルのポイントが返礼品です。

高知には、食、自然、文化、歴史、アウトドア、地域ならではの暮らしなど、実際に訪れることで初めて感じられる魅力があります。

高知信用金庫は、ふるさと納税を**高知との新しい関係が始まる仕組み**へ発展させたいと考えています。

5. 地域通貨「ジモッペイ」とは

「ジモッペイ」は、高知信用金庫が提供する地域通貨です。スマートフォンアプリを通じて地域のお店などで利用でき、地域の消費やさまざまな地域活動をつなぐデジタル基盤として展開しています。その機能の一つが「ジモッペイふるさと納税ポイント」です。ジモッペイでふるさと納税を行うと、自治体の返礼品としてジモッペイふるさと納税ポイントを受け取ることができ、地場産品基準を満たす商品・サービスを提供する対象店舗・施設で利用できます。

ふるさと納税と地域通貨を組み合わせることで、全国から高知への寄附を、実際の地域消費や交流へつなげていきます。

6. 地域活性化機関として

高知信用金庫が目指しているのは、地域金融機関として持つ金融機能、地域の事業者とのネットワーク、自治体との連携、そして地域通貨ジモッペイというデジタル基盤を活用し、**「地域にお金を循環させ、人を呼び、地域で使ってもらう」**仕組みをつくることです。

寄附する。→高知に来る。→地域で使う。→高知を好きになる。→そして、また高知を訪れる。

この循環をつくることが、高知信用金庫が地域活性化機関として、ふるさと納税に取り組む意義であると考えています。

高知信用金庫はこれからも、地域が抱える課題を先取りし、金融・デジタル・地域連携の力を組み合わせながら、高知の持続的な発展につながる仕組みづくりに取り組んでまいります。

高知に６０%をのこす。
返礼の３０%も、高知で使ってもらう。
ジモッペイだからできる、「高知を体験する」ふるさと納税へ。

以　上

.COM BANK
高知信用金庫

「地域で遊ぶ」と「ジモトの応援」に

地域通貨 ジモッペイ

ふるさと納税ポイント手数料を全面改定します

～ 2027年4月から ～

高知に60%をのこす 体験ふるさと納税

1. 手数料を引き下げ、高知に残るお金を増やします

寄附金の60%以上を高知にのこすことを基本方針として、ふるさと納税の手数料を見直します。

これまで		2027年4月から	
ふるさと納税 運営手数料	7.7%	ふるさと納税 運営手数料	5.5%
システム基盤 利用料	5.5%	システム基盤 利用料	2.75%
合計	13.2%（税込）	合計	8.25%（税込）

合計で約4.95ポイント引き下げ

2. 寄附金の60%以上を高知にのこす仕組みです

ふるさと納税の寄附金は、これまで以上に高知に残し、地域の事業や暮らしに活用します。

高知に残るお金	手数料	返礼品（返礼品・配送・自治体事務費等）
60%	10%	30%

地域の事業・雇用・観光・まちづくりに活用！

3. 返礼品は高知で使えるデジタルポイント

寄附のお礼として受け取ったジモッペイふるさと納税ポイントは、高知県内の対象店舗・施設で1ポイント＝1円として利用できます。

- 食べる 飲食店
- 泊まる 宿泊施設
- 遊ぶ・体験する レジャー・体験施設

高知での食事・宿泊・観光・体験を通じて、地域の消費や交流につながります。

4. ふるさと納税 × ジモッペイで地域の未来を応援

ジモッペイふるさと納税は、寄附する人と地域をつなぎ、高知を訪れるきっかけづくりや地域の事業者の応援、持続的な地域の発展につなげていきます。

ジモッペイは、これからも
高知の未来につながる ふるさと納税 を目指します。